

平成 28 年度第 1 回仙北市総合政策審議会 概要

日 時 平成 28 年 8 月 4 日（木）14 時～16 時 15 分
場 所 田沢湖庁舎 3 階 第 1 会議室
出席委員 門脇健郎委員、佐藤正美委員、能美忠堯委員、伊藤順委員、池本敦委員、
中村正孝委員、新山睦子委員、赤上マツ委員（8 名）
欠席委員 草薨 隆委員（1 名）
市出席者 門脇市長、倉橋副市長、藤村総務部長、小田野地方創生・総合戦略統括監、
浅利財政課長、草薨財政課参事、畠山財政課係長、鈴木財政課主任、
藤村地方創生・総合戦略室長、柏谷方創生・総合戦略室主任
事務局 大山企画政策課長、村瀬企画政策課長補佐

次 第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 自己紹介
5. 職員紹介
6. 審議案件等
 - (1) 仙北市総合政策審議会の設置について
 - (2) 会長及び副会長の選任について
 - (3) 第 2 次仙北市総合計画について
 - (4) 公共施設等総合管理計画について
 - (5) 仙北市総合戦略の概要及び事業検証について
 - (6) その他
7. 閉会

■市長あいさつ

第 1 回の仙北市総合政策審議会です。どうかこの後の議論に活発な意見をいただきたいという思いです。また、要職を引受けていただきありがとうございます。

全国的な傾向ということで話をすると、日本は既に人口減少国になっており、その影響がこの後どのような形で各地域に現れるかについては分析がなされています。簡単に考えると地域を守る担い手がますます厳しい状況になっていきます。例えば農村部であれば田畑等の資産を管理することが困難になります。山もそうです。地主の不在が増えていきます。消費者という観点からいくと、飲食、購買する方々が減少すると、経済が

立ち行かない状況が目前に迫っています。仙北市はこの状況に立ち向かうために、今後10年の総合計画や総合戦略を策定し、人口減少の鈍化対策に一生懸命とりくんでいるところです。仙北市が他市と明らかに違うところ、弱点もありますが、強みもたくさんあります。これらをうまく活用していくことが、即効的な効果を期待することができます。これは短期的な視点です。中長期的な視点では、今はなかなか形になりませんが、この後、市民との協働との成果が経済対策に結びつく種を見逃したくないと考え、総合計画に盛り込んだ気持ちです。2040年には16,000人になるだろうという国の調査期間の数値がありますが、受け入れることができないという思いです。それをどう形づけていくかが大変重要です。総合戦略の柱としては産業振興として、仕事づくり、職場づくりをしていくことを掲げています。少子対策、子育て支援もピックアップしています。それから定住対策、新たな地域社会の形成という4点から、特徴的な政策を掲示したつもりではいます。うまく機能し、複合的な成果を発揮できるのはもう1～2年かかるかと思います。しかし黙っていても近年先の状況も手にすることができません。皆様方には厳しく更に発展的な意見をいただきながら、この活動を支えていただき、見守っていただき、あるときは担い手になっていただきたいと思います。仙北市の生き残りをかけた戦略であります。これまで北東北の交流の拠点都市を目指して10年を過ぎましたが、更に高めていくという思いで、小さな国際文化都市を目指す10年にしたいという思いでこの総合計画を策定しました。よろしく願い申し上げます。また、総合戦略アドバイザーも3名おりますので、この方々の意見を伺いたい、質問があるといった場合は参加いただくことも可能ですので、ご要望いただければありがたいです。よろしく願いいたします。

■審議案件等

(1) 仙北市総合政策審議会の設置について

配付資料：仙北市総合政策審議会条例に基づいて説明

(2) 会長及び副会長の選任について

委員から事務局一任という発言があり、事務局から案を掲示。

【事務局案】

会 長 佐藤 正美（仙北市商工会）

副会長 中村 正孝（学識経験者）

委員から異議なしの声が多数のため、事務局案で決定。

・佐藤正美会長の挨拶

生活の信条的にはあまり物事にこだわらないということにしており、必要で

あれば使ってほしいし、必要でなければそれで良いということを基本として
います。たまたま座った両隣が、前の助役さんだったので大船に乗ったつも
りで座っていました。1つよろしく願いいたします。

(3) 第2次仙北市総合計画について

事前配付資料：基本構想の冊子に基づいて説明（前半のみ）

池本委員	目標としては良くて、これをどう実現していくかという取組の方が大事。
佐藤会長	秋田県は低迷していますが、他地域よりは可能性が高いと思いますか。
池本委員	観光資源や秋田新幹線があります。ただ、人口減少の割合はほぼ同じで、秋田市以外の人口の長期的見通しは、何も策を打たなければどんどん減少していきます。
佐藤会長	若い世代そのものが少なくなっているということが重要な問題だと思います。
池本委員	昔のピラミッド型に戻ることが無いです。住民の方が全て健康であれば、釣り鐘型になること自体は良いと思うが、やはり人口を維持するため合計特殊出生率が2.07ないと維持できないというのが事実。自然現象を担うだけの社会的増加は他県、他地域から転入してもらいしかありません。そのためには高校までは地域にいると思います。高校生が将来をどう考えるのかということだと思います。進学と就職、他県に就職してもUターンしてかえってくるのかなど。できれば若者の意見を取り入れた方がよいと思います。
佐藤会長	なかなか難しいということですね。ありがとうございます。

(4) 公共施設等総合管理計画について

配布資料：平成 28 年 8 月 4 日財政課提出資料を基に説明。

佐藤会長	総務省からの依頼とすれば、財源はありますか。
門脇市長	これは国庫で認められている交付金があります。今ある施設をどう活用していくかという道筋をつける重要な計画です。
佐藤会長	統合庁舎とのからみで、いくら提出してもどんでん返しということもありますよね。
門脇市長	統合庁舎の議論は佳境に入っています。庁舎も公共施設ですが、この後仙北市を運営していく立場とすれば、合理的に経費をかけずにできること。そのういた経費で別にかけていくという道筋からもとても重要と思っています。そういう意味の象徴的なところとして統合庁舎です。皆様にご理解いただき、市内の公共施設の整理統合に加速に向けたエネルギーになると思っています。ただ、それが全てではないとも思っています。
佐藤会長	総務省は解体するものに対しても補助金がありますか。
門脇市長	あります。ここ数年で議論が進んでいます。
佐藤会長	補助金で建設したものは 30 年ほど壊せなかったと思います。
門脇市長	10 年ほど前に撤廃されています。ただ、総務省はそう言いますが、各所管の省庁に実態として、この建物を多目的なものにしたいというところと各省庁所管等はそれに対して抵抗することもあります。経済成長期に建てた公共施設は、今でははっきりいってお荷物になっています。これを如何にスクラップして、新たな施設として再生ということはやらなければなりません。非常に脆弱な財源を、その管理費に費やしてしまっている現状があります。
佐藤会長	負の資産と言いますが、そういう時代があつて今につけがま

藤村総務部長	<p>わってきていると。そういった中で見直して、総務省に提出するということですね。</p> <p>10年前に合併協議した際に、新市建設計画に財政シミュレーションを行いました。その際に公共施設の維持補修費を毎年1億ほどと想定していたが、ここ2～3年は5億円ほどかかっています。施設を修理するだけの経費にかけていますので、黙っていればもっと膨らんでいきます。新しい施策を実施するためにも整理しなければならないと実感しています。</p>
佐藤会長	<p>全国の自治体の現状を総務省が把握するという考え方でいいですね。</p>

(5) 仙北市総合戦略の概要及び事業検証について

配布資料：仙北市総合戦略概要、仙北市総合戦略に係る事業実施結果及び検証、事務連絡に基づき説明。

佐藤会長	<p>委員が9名いますが、9名全員のものが報告されるわけではないですね。○×が分かれた場合はどうしますか。</p>
柏谷主任	<p>会長と副会長にお諮りして決定します。</p>
赤上委員	<p>保育教育環境充実事業とありますが、その中に「多様化するその他のニーズを把握する機会」とありますが、その他のニーズというのは具体的にはどういったことでしょうか。</p>
柏谷主任	<p>子育てをしやすい環境にしてほしい、予防接種の助成を増やしてほしい、保育料を皆定額にしてほしい、公園を整備してほしい、仙北市独自の赤ちゃんから小中高までの情報が統一された冊子がほしいなどの意見をアンケートでいただいています。</p>
佐藤会長	<p>評価が悪いものが報告された場合は、次年度の交付金は検討されるのでしょうか。</p>
門脇市長	<p>今説明した事業は、全て国の交付金事業です。決して、総合戦略がこの事業のように全て交付金事業だけではないです。</p>

	<p>ほとんどは交付金がありません。1 週間前ほどに経済新聞にのりましたが、総合戦略の計画をたてて地方創生を促している国なのに、財源を確保できないために取組めないという実態があると。その中でソフト事業ではなく、交流拠点を建築するべきなどのハード事業にも手当が必要ではないかと議論がありました。それについては、対象として事業造成をするべきだと国会でも意見が多くなり、28 兆円くらいの経済対策がありますが、その中の一部、来年度の予算にも一部、地方創生を前に進めるためのハード事業の交付金が出るとのことでした。</p>
佐藤会長	<p>クレジットカードの決済についても Wi-Fi と一緒に進めてほしい。</p>
藤村総務部長	<p>確かに意見はありましたが、当時店舗の方から現金ではいるのが 1 カ月後ということもあり嫌がるのではないかという話があり、まずは Wi-Fi を選んだと思います。会長からの意見もありますので、その方向も応援していけるように検討します。</p>
佐藤会長	<p>もう一度評価の期限等についてお話ししてください。</p>
柏谷主任	<p>返信用封筒を配付しています。8 月 15 日までに評価のうえ投函していただくか、様式データに直接打ち込むということであればメールでお知らせください。</p>

(6) その他

門脇市長	<p>皆様からご意見をいただきたい案件があります。モーグルのワールドカップが開催されます。1 回、2 回と開催し、県ではジャッジハウスも作っていただき、モーグルのメッカにしていこうという関係者の想いがあります。当初 3 回連続の予定でスタートしました。開催経費は 1 億 2 千万円です。6 千万円は県、3 千万円は市、残り 3 千万円はスポンサーです。FIS の関係者から非常にすばらしい環境のスキー場であり、地元の方々の対応もすばらしいということで、さらに 1 回のプラ</p>
------	---

	<p>スアルファができないかと打診されています。総計4回ということですが。県もやりたいし、私自信もやりたいという考えです。しかし、毎年3千万円という経費が必要になります。すぐにやりましょうという返答はしていません。</p>
佐藤会長	<p>国体等と異なり、ワールドカップに来る方はお金の使い方が違うと思います。経済効果がどれくらいあるのかを調べたらどうでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>地元にお金がいくら落ちるのかを出して、市民に見える形が良いと思います。成功しましたと言われても、ピンとこないと思います。どれだけの人数が集まって、仙北市がどれだけ潤ったかが大事かと思います。</p>
門脇市長	<p>秋田経済研究所などに相談して、経済効果を依頼しようと思います。</p>
池本委員	<p>数値化できれば良いですが、利益だけでなく客観的な人数、宿泊者数なども把握できれば良いと思います。</p>
中村副会長	<p>簡単な比較はできないと思いますが、国体、インターハイの数値はどうなっていますか。比較してみたら良いと思います。</p>
門脇市長	<p>客観的に数値を出して方向性を導き出すという考えを伝えたいとお思います。 例えば目標としている小さな国際文化都市という考え方からいうと、世界各国から選手がきて、3回目ではレラで市民の方々が参加できるようなオープンスペースで交流できるような場を作りたいと思っています。</p>
門脇委員	<p>市内にある学校等公共施設の空き施設を使わないでいても維持管理にお金がかかっています。今後、再利用する方法と解体する方法になると思いますが、どう考えていますか。 それから多様な事業を誘致するのは良いですが、ドローンにしてもモーグルにしても費用対効果が叫ばれています。最終的な経済効果がないものについてどう考えればよいかと思っ</p>

門脇市長	<p>ています。</p> <p>それから結婚の問題。ここで生まれた子供たちを都会にださないように、地元就職できるような環境をつくることに力をいれるべきだと思います。</p> <p>空き家対策ですが、空き家に入っている方々はほとんど退職された高齢者が多いです。来てくれるのはうれしいですが、医療費がかかってきます。支出もでてきます。</p> <p>私の今の考えです。公共施設のこの後の考え方は、現状としては3つくらいにわけられると思っています。活用できると。これは耐震の状況が大きく影響します。他市で空き校舎を企業に貸出してという話がありますが、それに叶う校舎は仙北市にほとんどありません。やるとすれば耐震補強をする必要があります。活用できるものは最大活用していきます。今ここ何年かけて活用策を見出すことができない、老朽対策に経費がかかるのみというものについては解体したいと思います。その中間もあります。地域あるいは集落が、必要なので管理させてもらいたいというもの。</p> <p>イベントについてですが、ドローンについては新しい取組としてやったこともありますがうまくいかなかったこともありましたが、新聞の評価としては運営に問題があると評価をいただきました。ドローンを飛ばすことに喜びを感じているわけではなく、ドローンをいかに生活の中で活用することができるか、子供たちから考えてもらいたいという思いがあります。そういった子供たちが技術者として育ってほしいです。ドローンが産業として成り立つことができる先駆的なモデルを仙北市で実施していくという考えです。</p> <p>子育てに関しては難しいことが多々あります。例えば島根県の海士町にいきましたが、定住対策のメニューがとてもそろっているかといえば、仙北市よりも整っていません。町から補助制度というのは仙北市の方が何倍もあります。確かに高齢の方々がくると支出も多いということは海士町でも同じ話をききました。ツーリストが海士町に3万円を使って帰っていくよりも、1年間365日定住していただいた方が消費金額は多いと。かかる経費という見方もあるが、消費していただく金額を考えると高齢でも若い方々でも、区分なくお迎えし</p>
------	---

赤上委員	<p>たいということでした。外部から来た方の目線は町民とはまったく異なっていて、魔法使いのようだと言っていました。</p> <p>近所に引っ越ししてきた方がいます。コンピューター関係の仕事をしてきた方だそうです。市長がおっしゃったように魔法使いのようなかたです。なぜここに来たのかと不思議に思って何が良くてここに来たかと聞いたら、何も無いところが良いと言っていました。</p>
池本委員	<p>先に説明したものの進捗状況を確認することがメインですよ。新しいアイデアを出すのは別の委員会ですか。いろんな課題があると思いますが、例えばインバウンドと観光はリアルタイムで対応しなければならない課題がたくさんあると思います。行政でお金をかけて効果があったかどうかを確認しなければなりません、一方で特効薬がないので、できることは何でもやらなければいけないですよ。予算かけなくてもできる仕事があると思います。ポケモンGOを例にすると鳥取ではモンスターの出現率を高めたことで、観光客が一気に増えたそうです。出現率はユーザーからの要望で可能だそうです。予算がなくてもできることや民間でできることなど、そのあたりはどう考えていますか。</p>
門脇市長	<p>総合政策審議会は計画の検証だけでなく、様々な提案をする場としてほしいと思っています。リアルタイムで対応しなければならないことについては、リアルタイムで開催させていただくこともあると思います。ポケモンは全県 25 市町村中、仙北市での発見率は 6 位です。いろんな意見があって、情報を発信しないでほしいという方もいます。</p>
佐藤会長	<p>出現する場所がわかり、より通過型の観光を推進するのはやめたいという思いもある。予定時間を過ぎてしまいましたので、そろそろ閉めたいと思います。検証は 15 日までで、次回については改めて通知がくるということですね。本日はこれで閉会いたします。お疲れ様でした。</p> <p>(16 時 15 分終了)</p>